

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プラウド海老名	階数	地上15F
建設地	海老名市中央1丁目211-1	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	311人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2020年1月31日
敷地面積	3,358㎡	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	687㎡	確認日	2020年2月6日
延床面積	7,123㎡	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

100% 76% 73% 73%

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

音環境: 3.1, 温熱環境: 3.8, 光・視環境: 3.7, 空気質環境: 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性: 3.0, 耐用性・信頼性: 3.1, 対応性・更新性: 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

建物外皮の熱負荷: 4.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化効率の運用: 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源保護: 2.2, 非再生材料の使用削減: 2.7, 汚染物質回避: 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化への配慮: 4.0, 地域環境への配慮: 2.9, 周辺環境への配慮: 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
地域の景観に配慮した色彩、高さとし、道路等の公共空間との間に植栽を施し周辺からの見え方に配慮した計画とした。		
<b>Q1 室内環境</b> ・二重壁によりD <sub>r</sub> 値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	<b>Q2 サービス性能</b> ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・建物の配置、形態、植栽などを周辺との調和に配慮した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される